

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズステーションわくわく（放課後等デイサービス）		公表日		令和 7年 2月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動に応じてスペースを調整しています。広さは十分な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		子どもの状況に応じて職員配置ができています。	送迎職員の配置など、支援時間の職員配置に留意ながらシフトを組む。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動内容に応じて環境設定を行っています。また、車椅子の方でも快適に過ごしやすいようバリアフリーやスロープを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の掃除を徹底させるとともに、感染症対策としてアルコール消毒や、換気、空気清浄機、感染症対策エアコンフィルターなど設置し管理を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子ども達が集中して安心できる環境作り（個室対応等）を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		業務改善を進めるための振り返り等を職員と行い毎日に療育に役立てています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様の意向等を把握する機会を設け改善に努めています。	今後も、保護者様の意向等を把握し改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員の意見等を把握する時間を設け、問題があれば話し合いを行い改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価が行えていない為、今後検討予定です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月1回の職員会議、研修を行っています。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		年度内にホームページ等で支援プログラムを公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個別支援計画案を元に職員で会議を行い保護者のニーズや課題等を客観的に分析し計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		随時確認を行うように心がけています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		随時確認を行うように心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		個別支援計画に支援内容を記載し保護者に説明しています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	専門的支援員等で活動プログラムの案を工夫しながら立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	活動プログラムが、固定化されないように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	個別支援や集団活動をどちらも支援内容に取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	毎日ミーティングを行い、支援内容、役割分担など共通認識を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	当日できない日もあるが、必ず振り返りを行い情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	毎日、支援内容を記録し支援の振り返りを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	定期的なモニタリングをできるだけ支援者全員で行い放課後等デイサービス計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	放課後等サービスガイドラインの4つの基本動作を参考にし支援を行うよう配慮しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	自由遊びの時など、遊びの絵カードを提示し、自分が遊びたいカードを選ぶなど選択する機会を設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	児童発達管理責任者がサービス担当者会議や、関係機関との会議に参加しその内容を職員へ情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	必要に応じて情報共有を行い連携を取っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	月に1度行事予定や下校時間のプリントを頂き、電話等でも随時連絡を取り確認しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	必要に応じて情報共有を行い連携を取っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	必要に応じて情報共有を行い連携を取っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	今年度、スーパーバイザーを講師に研修を行いました。	今後は、スーパーバイザーの研修（ペアレントトレーニング）等取り入れていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		社会福祉協議会と連携をとり、地域参加の機会を検討しています。今後、地域の方との交流や他事業所等との機会を設け活動する機会を増やしていきたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	積極的に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	公式ラインや電話等で状況等を連絡し共有しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		今後は、スーパーバイザーの研修（ペアレントトレーニング）等取り入れていきたいと思っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時や必要に応じて説明をしています。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		子どもと保護者の意思決定を尊重し計画を立て、支援サービスを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		更新時など、保護者様へ説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		公式ラインや電話、面談など必要に応じて支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5		年1回保護者会を開催しており、きょうだいの参加も受け入れています。	きょうだいの年齢や人数にもよるが、きょうだいで参加しやすい企画を検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		できるだけ迅速に対応し、信頼関係を築くようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		通信を月1回発行しています。緊急性を要するものは、公式ラインでお知らせなどを発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		研修でも周知し、日々、個人情報の取り扱いには十分配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性を正しく理解し、絵カードや表情カードなどを用いて工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		夏祭りなどの行事の際に、近隣の施設と交流する機会を設けています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		保護者へは必要に応じて、マニュアルのご説明を行っています。職員は、研修で周知しています。	いつでもマニュアルが閲覧できたり、家族に周知できるようにSNSやつうしんなど、周知方法を検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		必要に応じ、業務継続計画（BCP）を見直し災害時に備えています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		契約時のアセスメント等で確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時のアセスメント等で確認を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			安全計画を随時見直し、研修や訓練で安全管理を充実させていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			今後、非常時等の対応について通信等で周知する機会を設け、再確認をしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		職員会議でヒヤリハット報告書を確認し再発防止に向けた方策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に1回以上身体拘束・虐待防止の職員研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			現在、身体拘束を行う対象児童がいないが、社内研修で事例検討を行い備えています。		